



12月定例会が開催されました

平成28年第8回高梁市議会（定例）が、12月5日から21日まで開かれました。追加議案を含めた市長提出の議案のうち、1件については承認し、残り27件全てを原案のとおり可決しました。

議案質疑では、図書館駐車場へ多くの質問が寄せられる

市長の所信表明については、「立地適正化計画は、過疎化を加速するのではないか」という質問がありました。これに対しては、「立地適正化計画は、市街地のための計画であり、市全体は総合計画でカバーする」という答弁がありました。

議案質疑では、駅前に整備される図書館用駐車場の料金などを定める「高梁市図書館条例の一部を改正する条例」について、複数の議員が質問しました。

「滞在型の図書館に時間ごと上がるという料金体系はなじまない。1日の上限を決めるべきではないか」という意見に対しては、「そういった意見もある。他の事例を参考にしながら決めさせてもらった」という答弁がありました。「障害者や高齢者に向けた駐車スペースはどのようになっているのか」という質問には「障害者用には一定の台数

を止められる区画を用意している。高齢者用には特別なエリアは設けていない」との答弁でした。

高梁市職員の給与改定については「国家公務員との差を見る1つの目安となるラスパイルス指数は98%台で、市職員の方がやや少ない」との答弁がありました。

駐車場に関する議案や公用車購入予算に賛否

討論では、賛否それぞれ2名ずつの議員が意見を述べました。反対討論では、高梁市図書館駐車場について、「図書館無料の原則に反し、周辺事業者との不公平感にもつながる」という反対意見や「現状の4倍以上の運営費がかかる以上、方向や計画、展望をきちんと示すべき」という反対討論がありました。

市長の権限が強まる」ので反対という意見や、「平成28年度高梁市一般会計補正予算（第2号）」について、「マイナンバー制度に関連する予算を含むため反対する」という意見や、三菱自動車を支援するために、前倒しで公用車を購入する予算については「助ける相手を間違えている」と反対の意見がありました。

※ ラスパイルス指数…全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数

11/9 臨時議会を開催しました

駅前複合施設の内装費などを含む工事請負契約の変更などを審議

11月9日に、第7回高梁市議会（臨時）を開催しました。臨時議会には、市長から提案された議案のうち、3件を原案のとおり可決、追加提出の議案4件について同意しました。さらに議員発議の議案1件を原案のとおり可決しました。

図書館を核とする複合施設建設に関する工事請負契約の増額変更が提案された議案では、議案質疑でいくつかの質疑が交わされました。

この議案は、建物本体の基礎工事の工法変更及びテナント内装の仕様確定に伴う設計変更に関するものでした。

今回の工事について、「変更部分は当初から見込めなかったのか。基礎工事の契約変更がなぜ今になって出てきているのか」という質問がありました。これに対して、執行部側からは、「工事は過去の構造物が出

てきたからだ。2カ所で地質調査をしていたが、そのときには出てこなかった」という答弁がありました。

また、「工法変更については6月の全員協議会ですでに説明しており、2割以内の工事金額変更については、工事後の承認であっても手続的に不備にはならない」との答弁もありました。

その後、議案は総務文教委員会の審査を経て、本会議でも原案のとおり可決されました。

11/24 全員協議会を開催しました

成羽複合施設（仮称）の概要について質疑を行いました

11月24日に、「成羽複合施設（仮称）」の基本的な考え方について質疑を交わす、全員協議会を開催しました。

「成羽複合施設（仮称）」は、高梁市成羽町出身の伊藤謙介氏よりの篤志を受け、「文化ホール」を有した複合施設を整備するという計画です。

事業の構想は、現成羽総合福祉センターを候補地として、複数の公共施設の機能を集約する2000平方メートル程度の延床面積の施設を建設するというもの。集約される主な施設は、成羽地域局（昭和33年建設）、成羽文化センター（昭和41年建設）、成羽総合福祉センター（昭和59年建設）などです。

平成28年度に基本設計、平成29年度に実施設計、平成30年度に建設工事の予定で、オープンは平成31年度になる予定です。

ホールに関する質問に対しては、席数は250席程度を想定しており、ご寄付はホールの建設費に充当され、ホール以外の部分は合併特例債を財源とするとの答弁がありました。

建物の維持経費については、250席程度のホールの実績を試算したところ、約2割の節減が可能であり、今後電気設備の省エネ化などでさらに圧縮できるとの答弁がありました。「ワークショップを開いて市民合意を形成すべきではないか」という質問に対しては、「基本構想の骨格ができた時にワークショップ等を開いていきたい」との答弁がありました。